

助詞 1

学習日 月 日 ()



確認しておこう

助詞：…付属語で活用のない語を助詞といいます。助詞のはたらきは、

語と語の関係を示したり、一定の意味を添えたりします。

助詞には四つの種類があります。

① 格助詞 かくじょし ② 接続助詞 せつぞくじょし
↓語と語との関係を示す③ 副助詞 ふくじょし ④ 終助詞 しゅうじょし
↓意味をつけ加える

☆ 次の―線部が助詞なら○を、そうでなければ×をつけましょう。

- ① 赤ちゃんが笑う。 ()
- ② 図書館の本を借りる。 ()
- ③ すぐ鳥取を出発しよう。 ()
- ④ 浦富海岸は美しいなあ。 ()
- ⑤ 雪が降ってきた。()
- ⑥ このプロジェクトが成功するといいですね。()
- ⑦ 地図を見ながら進む道を決めた。()

◎助詞と助動詞の

区別がつかかな?

どちらも付属語です

が、大きな違いは、

助詞―活用がない

助動詞―活用がある

ということでしたね。

格助詞：…主として体言につきます。(例えば、が・の・を・に・から など)

☆ 次の各文の格助詞に―線をつけましょう。

- ① 本を読む。
- ② 天気がいよひので、公園に行く。
- ③ 私の夢は、指揮者になることだ。
- ④ 彼は、ロンドンで二年間暮らした。
- ⑤ 姉から妹に誕生日プレゼントが届いた。



接続助詞：…用言や助動詞につきます。上下をつなぐはたらきをします。

(例えば、が・ば・と・ので・から・けれど・ながら など)

☆ 次の各文の接続助詞に―線をつけましょう。

- ① 図鑑で調べたが、わからなかった。
- ② 小雨が降っても試合があります。
- ③ 雨が降れば、運動会は中止だ。
- ④ 誕生日には少し早いけれど、姉から贈られてきた。
- ⑤ 彼は答えを知っているのに、教えてくれなかった。



助詞 2

学習日 月 日 ()



確認しておこう

助詞：…付属語で活用のない語を助詞といいます。助詞のはたらきは、

語と語の関係を示したり、一定の意味を添えたりします。

助詞には四つの種類があります。

① 格助詞 かくじょし ② 接続助詞 せつぞくじょし
↓語と語との関係を示す③ 副助詞 ふくじょし ④ 終助詞 しゅうじょし
↓意味をつけ加える

☆次の―線部の助詞の種類を、後ろの□から選びましょう。

- ① 今度こそ入選するように努力する。()
- ② 試合会場に一緒に行こうか。()
- ③ 彼は、スケートもできるし、自転車競技もできる。()
- ④ 米子鬼太郎空港を出発し、韓国に向かった。()
- ⑤ 鳥取博物館のイベントに参加した。()
- ⑥ 寒い冬が過ぎて、春が来た。()

ア 格助詞 イ 接続助詞 ウ 副助詞 エ 終助詞

副助詞：…意味を付け加えたり、限定したりします。(例えば、は・も・こそ・さえ・まで・ばかり・くらい など)

☆次の各文の副助詞に―線をつけましょう。

- ① 今度こそ頑張りうと思っている。
- ② ゴールまであと、一キロメートルとなった。
- ③ 一日五組だけの客をもてなすプランがある。
- ④ 仁川空港に今着いたばかりです。
- ⑤ エジプトに三週間ばかり滞在して、研究に取り組んだ。



終助詞：…文末につきますが、文節の切れ目につくこともあります。

(例えば、か・な・なあ・ぞ・とも・よ・ね・かしら など)

☆次の各文の終助詞に―線をつけましょう。

- ① サッカーの試合を見に行こうか。
- ② ゆっくり話してくださいね。
- ③ その発見は、本当かしら。
- ④ 明日の試合は何時に始まるの。
- ⑤ 今日はとても楽しかったな。





確認しておこう

☆ 同じ助詞でもさまざまな働きがあります。例えば「が」は、格助詞、接続助詞になります。

どちらのはたらきをしているのか、文をよく読んで判断する必要があります。

風が吹く。 ↓ 格助詞

少し寒いが、今日はがまんしよう。 ↓ 接続助詞

☆ 次の―線部と同じはたらきのもの、あとから選んで記号に○をしましょう。

① 博物館に|見学|に行く。

ア 朝九時に|集まり|ましょう。 イ 母に|プレゼント|をする。

ウ 教科書を取りに|行く。 エ ショパンの音楽に|聴き|いる。

② 弟と|テレビ|を見る。

ア 母と|約束|をする。 イ 氷が水と|なる。

ウ パンと|牛乳|を買う。 エ 「おはよう」と|答|える。

③ 大きな声で|話|してください。

ア 図書館で|本|を読んで|いる。 イ 大雪で|試合|が中止になる。

ウ 徒歩で|行く|ことになり|そう|だ。 エ 一日で|書き|上げる。

④ 早く|行かないと|、遅れるよ。

ア あなたと|一緒に|行く。

イ どうなろうと|、私は|知らない。

ウ 空港に|着くと|、みんなが|来て|いた。

エ このままだと|、危険|だ。

⑤ 自分|のこと|ばかり|話す。

ア 牛乳|ばかり|飲んでいる。

イ 今鳥取に|着いた|ばかり|だ。

ウ 一週間|ばかり|海外に|出かける。

⑥ 旅行の|写真は|きれいに|撮|れましたか。

ア 明日は、|試合|が行われる|でしょう|か。

イ どうして|そんなこと|が|でき|ました|しょう|か。

ウ 一緒に|サッカー|の|試合|を見に行|こう|か。

⑦ あなたの|歌声|は、|すばらしい|ね。

ア 質問は|ありません|ね。

イ 十一時に|学校|に行|けば|いいの|ね。

ウ 浦富海岸は|美しい|海岸|だね。

鳥取の文学散歩

鳥取県東伯郡三朝町が登場する推理小説を紹介します。

「Dの複合」

松本清張

(一九〇九～一九九二)

福岡県小倉市(現在の北九州市小倉北区)生まれ。

一九五三年、『或る「小倉日記」伝』で芥川賞受賞。

一九五八年の「点と線」は推理小説界に「社会派」の新風を生む。一九六一年の「砂の器」には、鳥根島の亀嵩が出てくることで知られている。

「Dの複合」では、主人公が事件の真相を追って行く中で、事件にかかわった人物の出身地として三朝町が登場します。また、松本清張の父親は日南町の出身です。



助動詞 1

学習日 月 日 ()



確認しておこう

助動詞とは、付属語で活用があります。主に体言や用言について、いろいろな意味を付け加えたり、話し手の判断を表したりします。助動詞は、文末にくることも多く、また、文の意味を決定する大切な役割を果たしています。

○それは、私の本だ。(断定) ○私は、旅行に行きたい。(希望)

○彼は、イギリスに留学したい ようだった。

(希望 推定 過去)

※ 助動詞がいくつも重ねられることもあります。

☆ 次の各文の助動詞に―線をつけましょう。

① この問題はゆっくり考えよう。② 幼い頃のことが思い出される。③ この仕事は、私がしよう。④ もうすぐ二十世紀梨が収穫されるらしい。⑤ 新しい先生のことは誰も知らないようだった。

☆ 次の―線部の助動詞の意味をあとから選びなさい。

① 昨日は誕生日だった。()② 何日も雨が降らない。()③ 夏休みには、旅行に行きたい。()④ 妹が姉に本を読ませる。()⑤ 遅れていた飛行機が今到着しました。()⑥ 校長先生が話される。()⑦ 彼女が、新チームの部長だ。()⑧ もうすぐ、彼女の演技が始まるだろう。()⑨ 図書館で一緒に勉強をしてきます。()⑩ 昼食を食べたばかりだが、ケーキは食べられる。()

可能 尊敬 使役 希望 否定

丁寧 断定 過去 完了 推量

同じ助動詞でも文によって、意味が違いますね。助動詞とその意味はまとめておきましょう。



助動詞 2

学習日 月 日 ()



確認しておこう

この単語の品詞は、何だろうかと迷ってしまうことがあります。見分けることが難しい単語については、**違い**を整理しておくといいでしょう。

例えば、「ない」の場合

☆助動詞 文節に切れない。「ぬ」に置き換えても意味がわかる。()

今年は、雨が降らない。↓今年も雨が降らぬ。↓○

☆形容詞 文節に切れる。「ぬ」に置き換えると意味がわからない。()

今年がオリンピックがない。↓今年がオリンピックがぬ。↓×

(他に「補助形容詞」・「形容詞の一部」がありますが、省略します。)

問題1 次の一線部の語が断定の助動詞であれば○を、そうでなければ、

×をつけましょう。

- ① 東京は晴れで、鳥取は雪だ。()
- ② 今日はのどかで、穏やかだ。()
- ③ この梨は、二十世紀梨だ。()
- ④ 魚市場の魚は新鮮だ。()

問題2 次の一線部の語の意味や働きを□から選びましょう。

(1)「れる・られる」

- ① 故郷のことが思い出される。()
- ② リレーメンバーに選ばれる。()
- ③ 社長がお話をされる。()
- ④ このキノコは食べられる。()

受け身
尊敬
可能
自発

(2)「ようだ」

- ① 今月中に新しい駅舎ができるようだ。()
- ② まるで北極のような寒さだ。()
- ③ 海のように大きな湖だ。()

たとえ
推定
例示

(3)「そうだ」

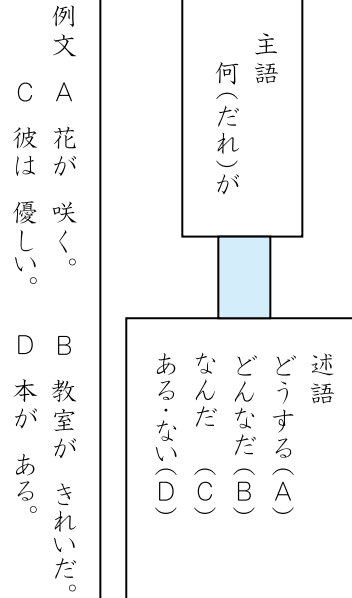
- ① 飛行機は、台風のために欠航するそうだ。()
- ② 子どもが楽しそうに遊んでいる。()
- ③ 午後には雪が降りそうだ。()

様態
伝聞



「何が」などにあたる文節を**主語**、「どうする」などにあたる文節を**述語**と言います。
(主語と述語を見つけられることができるかな?)

(1) 主語・述語の関係



☆ 次の各文の主語に―線、述語に||線をつけましょう。

- ① 夕日がきれいだ。
- ② 私が図書委員をします。
- ③ 私は、バスケットボール部に入部する。
- ④ 鳥取県にはたくさん温泉地がある。
- ⑤ 尾崎翠はとても有名な作家だ。
- ⑥ 赤ちゃんが大きな声で笑う。
- ⑦ 私は白兔海岸で、桜貝を見つけた。
- ⑧ 彼女は、アジア大会で金メダルを獲得した。

四つの形を覚えて

おくといいよ。



(2) 修飾・被修飾の関係

(修飾語)(被修飾語)

美しい 花が 咲く。

どのような―何が

「美しい」は「花が」どんな花かをくわしく説明している。このように他の文節の内容をくわしくしている文節を**修飾語**といい、内容をくわしくされている文節を**被修飾語**といいます。

☆ 次の―線部が修飾している文節に、||線をつけましょう。

- ① 青いバラが咲いている。
- ② 今年の夏は、とても暑かった。
- ③ 書道を学んだので正しい字が書ける。
- ④ 書道を学んだので正しく字が書ける。
- ⑤ ごろごろと雷が鳴った。
- ⑥ 急に、電車が止まった。

修飾語のうち、「何」にあたる部分を修飾するものを**連体修飾語**、「どうする」にあたる部分を修飾するものを**連用修飾語**といいます。
①〜③が連体修飾語、④〜⑥が連用修飾語の問題です。

【漢字に親しもう】

矢印の方向に読むと、漢字二字の熟語ができます。例にならって、□に入る適切な漢字を書きましょう。

